

## 令和8年度 第1回 伎倍小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年4月28日（火） 14時から15時45分まで
- 2 開催場所 伎倍小学校 会議室
- 3 出席委員 木俣保広、飯田勤、日置芳美、竹内真哉、牧野絵里子、村松真理子、黒田慶
- 4 欠席委員 松嶋のぶこ、木俣愛佳
- 5 学 校 高木理恵（校長）、村田昌士（教頭）、常名瑞穂（教務）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 教頭 村田昌士
- 8 任命書の配付  
本年度より学校運営協議会委員となった村松委員、黒田委員に任命書を配付した。

- 9 議長の選出  
事項紹介後、木俣会長から、議長について牧野絵里子委員が指名され、議事が進行された。

### 10 協議事項

- (1) 令和8年度学校運営基本方針について
- (2) 学校教育目標を実現するための支援について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (4) いじめ防止基本方針について
- (5) 学校運営協議会の今年度の目標について

### 11 会議記録

教頭から、9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 令和8年度学校運営基本方針について

校長より資料に基づき、今年度の学校運営基本方針について説明がされた。関連議論の末、令和8年度の学校運営基本方針が承認された。

#### 【関連議論】

- 黒田委員：方針を大きく変えず定着させることや、小中9年間で一貫した取り組みを行うことは良いことである。
- 村松委員：「ともに」という部分が重視されていると感じた。「自分らしさ」をどう育むのか、特にデジタル活用による「思考の共有」と「自分らしさ」の伸長がどう結びつくのかが疑問である
- 校長回答：今年度は特に「ともに」に力を入れる。「自分らしさ」のある思考を共有する中で、来年度以降を見据えながら「自分らしさ」を育てていく。

#### (2) 学校教育目標を実現するための支援について

学校支援CD竹内より、昨年度の活動実績と今年度の活動計画が説明された。また、今年度のキャッチフレーズに沿い、専門的なことを学びたい子供を、特技を持つ応援隊登録者が支援する企画が提案された。

#### 【関連議論】

- 日置委員：中学校でもボランティア活動を計画しているため、中学校区全体で連携した企画を考えてはどうか。また、授業参観だけでは分かりにくい子供の成長について、教員から情報共有があると、より具体的な支援を考えられる。
- 村松委員：音楽や体育、英語などで応援隊員が長期的に関わることで、子供の「自分

らしさ」の構築につながるのではないか。

○牧野委員：自身の経験を生かして情報整理や効果的な表現方法を教えることができる。

○黒田委員：専門的な内容であればあるほど、地域住民が「自分の出番」と感じ、協力しやすくなるのではないか。

○教 頭：子供への直接指導だけでなく、教員向けの研修も有効である。専門家から指導法を学ぶことで教員がスキルアップし、日々の授業を通じて子供に還元される。

○竹内委員：地域への認知度向上のため、回覧板の積極的な活用や自治会の集まりでの紹介を行っていく。ポスターの差し替えや新たなチラシの配布を検討する。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

学校の教育活動を支援するため、ICT環境の充実や学校応援隊による各教科等における授業の支援に活用することとなった。また、学校運営協議会の活動の広報に支出をお願いすることとなった。

(4) いじめ防止基本方針について

教務より今年度の学校いじめ防止基本方針について説明がされた。今年度も全職員でいじめの未然防止と早期発見に取り組むこと、新たな取り組みとして「きべっこのくらし」を2か月に1回全校で振り返る機会を設定する。

【関連議論】

○竹内委員：子供が「生き物を持ってくるところを先生が許可した」と言ってきた際に、保護者として判断に迷った。

○教頭回答：生活科など学習内容によっては生き物の持ち込みを許可する場合がある。原則、学習に関係ない持ち物は禁止しており、その都度指導している。

(5) 学校運営協議会の今年度の目標について

昨年度、話し合われたとおり、大目標を「学校運営協議会の仕組みや役割についての理解促進」とし、重点として「着実な活動の実施と実情に即した具体的な支援活動」「地域住民がより参加しやすい手立ての立案と地域との協力関係の構築」を図っていく。

【関連議論】

○黒田委員：当事者意識のない住民には情報が届きにくい。昨年度の動画は目新しさもあり、目に留まりやすかった。

○木俣会長：「地域住民」に何を期待するのかを明確化し、対象者（一般住民、有識者など）に応じて依頼内容を変えるべきである。

○牧野委員：見守りボランティアについて、ハードルが高いと感じられないよう、「散歩のついでに」といった気軽に参加できる形を提案する必要がある。

○日置委員：自治会長に直接協力を依頼し、各町内からボランティアを人選してもらう方法もある。

○竹内委員：役職者を通じた協力依頼には賛成だが、ボランティアは任意参加であるため、強制と誤解されない丁寧な伝え方が必要である。

## 12 連絡

(1) 議事録の公開について

(2) 学校運営協議会の日程（年間）について